

音楽史に刻まれる、夢の共演!

TOKYO FM&JFN present EARTH × HEART LIVE2015

supported by JA全農

開局 45 周年イヤーに開催するこのイベントには特別な想いを込めた。我々ネットワークのフィロソフィ「アースコンシャス〜地球を愛し感じる心」、「ヒューマンコンシャス〜生命を愛しつながらる心」の深遠なるスピリット。

100 年後に残したい言葉や気持ち

これを TOKYO FM とゆかりのある演出家・松任谷正隆氏が、「100 年後に残したい言葉や気持ち」というコンセプトに集約、音楽・映像・ストーリーが一体となった、かつて誰も体験したことのない野心的な舞台を創造してくれた。その壮大にして流麗、周到緻密なショー構成は、約 2 時間半、聴衆の目と耳とハートをくぎ付けにした。1 月中旬から始まった連日連夜に及ぶスタッフミーティング、リハーサルは濃密でシリアスな日々だった。映像、舞台、照明・・・腕利きのスタッフが集まり松任谷氏のイメージとアイデアを次々と具体化していく過程は、スリルに満ち溢れ、これが、ユーミンと共に最高品質のステージを 30 年以上作り続けてきた真髓なのかと、その一端を体感した。



熱唱する秦基博

演出を担当した松任谷正隆

出演は松任谷由実、JUJU、秦基博 自画自賛ではないがアースデー・コンサート史上に残るキャスティング。制作、事業一体となって粘り強くブッキング交渉にあたった成果である。この 3 名の膨大なヒットレパートリーから、この日のテーマを浮かび上がらせるにふさわしい曲を厳選、しかも 3 人の圧倒的な歌唱パワーが絡まり合うコラボレーションが次々と展開するという今回限りのプレミアムセットリスト。「次に何が起きるか、お客に予測させない・・・」松任谷氏のこだわりである。秦基博が「リフレインが叫んでる」を、ユーミンが JUJU の「ラストシーン」をカバーするなどのサプライズだけでなく、ライブのハイライトでは 3 人のボーカルが融合し、鳥肌がたつほどの感動的、圧倒的なパフォーマンスであった。



出演者 3 人のボーカルが融合した圧倒的な歌唱パワー

インバウンド映像企画

JFNC × FM FUKUOKA 「ネット動画中国配信」

株式会社ジャパンエフエムネットワークは、4 月 8 日より中国向けネット動画の新番組「我想去这里（日本名：ココニキタイ）」を中国最大のネット企業テンセントの動画サイトに配信を開始しました。これは在日中国人留学生が写真 1 枚だけを手掛かりに目的地を探すという筋書きのない旅番組で、当社ではこの番組を全国各地の訪日中国人観光客プロモーション企画として、全国で展開していく予定です。

第 1 弾は FM 福岡と共同プロデュースによる全 5 話。テーマは「百年前にあった日本と中国の友情の物語」で、中国の国父である孫文と、生涯をかけて彼を支援した日本人実業家、梅屋庄吉の交流を伝えるゆかりの地が旅の舞台となります。孫文は辛亥革命の時に日本に亡命をしており、なかでも九州には多くの史跡や資料が遺されています。「孫文が愛した九州」を観光資源として地元経済界が盛り上げていく機運の中、アバマンショップネットワークが当番組のスポンサーに決定。JR 小倉駅新幹線口に隣接する総合エンタテインメント施設「あるある City」を旅のスタート地点に設定し、孫文、梅屋庄吉の縁の地を巡ります。

当番組はテンセント動画 (v.qq.com) をメインに、中国動画サイト愛芸奇 (iqiy.com) や优酷 (youku.com) にて同時に配信をしました。またテンセントが運営する SNS (WeChat) をはじめ当社の SNS から番組宣伝を行い、配信開始から 3 か月で 5 話合計 90 万回の再生回数を達成、139 件のユーザーコメントが届き、中国から九州観光に対する高い興味・関心を肌身に感じています。

(JFNC アジア戦略部長 外川 一徳)

配信元 テンセント動画 絶渋佳人チャンネル (<http://v.qq.com/fashion/shibuya>)
愛芸奇 (iqiy.com) や优酷 (youku.com) から同時配信



目的地までの手がかりは写真 1 枚。



写真と同じ場所で記念撮影をしてゴール。

新社長紹介

JFN38 局で今年就任された新社長 5 人の皆様にアンケートにお答えいただきました。

アンケート項目

- 1 出身地
- 2 ご自身の性格
- 3 経営哲学
- 4 自局のセールスポイント
- 5 生年月日・星座



K-mix
上野 豊
(うえの ゆたか)

- 1 長野県長野市
- 2 常に強気
- 3 やる気、工夫、健康管理
- 4 地域密着の放送局として、毎週 7 つの生ワイド番組を中心に番組編成している点
- 5 1957 年 1 月 5 日 山羊座



FM 岡山
石井 正人
(いしい まさと)

- 1 岡山県岡山市
- 2 楽天的
- 3 なせば成る 成さねばならぬ何事も 成さぬは人のなさぬなりけり
- 4 リスナーに価値をもち、聴く喜びを実感してもらえる番組を提供
- 5 1958 年 9 月 18 日 乙女座



FM 秋田
佐藤 誠一
(さとう せいいち)

- 1 秋田県由利本荘市
- 2 飾りっ気がない
- 3 スピード&チャレンジ
- 4 地域とともに
- 5 1951 年 9 月 8 日 乙女座



FM 大阪
石井 博之
(いしい ひろゆき)

- 1 東京都
- 2 意外と繊細(笑)
- 3 リスナー第一主義と社員の幸せ
- 4 仕事に対する熱量
- 5 1960 年 10 月 29 日 さそり座



FM 山口
藤井 正史
(ふじい まさふみ)

- 1 山口県周南市
- 2 のんびり、適当
- 3 社員第一
- 4 丁寧な番組づくりとときめ細かな営業活動
- 5 1959 年 11 月 18 日 さそり座

ネパール大地震 JFN アースコンシャス募金

2015 年 4 月 25 日に発生致しましたネパール大地震に際し、JFN 38 社を通じて多くの皆様から被災者の方々への募金をお寄せ頂きました。JFN アースコンシャス募金は、在日本ネパール国大使館を通じて、被害に遭われた方々の救済、支援活動に役立てられます。皆様からの温かいご支援に深く感謝申し上げます。



右) 在日本ネパール国大使館
マダン・クマール・バッタライ 特命全権大使
左) 全国 FM 放送協議会 事務局長 大内真人

JFN の新たな活動テーマ「セールス連携の強化」

各局 × TOKYO FM 連動セールス企画

上りネットを活用した各局発のセールス連携企画として、2013年9月にFM三重 × TOKYO FM「伊勢神宮式年遷宮記念特別番組」からスタートし、2014年6月「FM愛媛」、8月「FM長崎」、2015年1月「Kiss FM KOBE」、3月「FM石川」、8月「FM長崎」「広島FM」、9月「K-mix」と8本の企画を実施しています。

広島FM × TOKYO FM 「カープ女子特番」

カープ女子を特集したテレビや雑誌などは多くありますが、他がやっていないFMならではの特番制作をTFMに相談、カープ女子の目線を通して広島の魅力や球団と地域の結びつきなどを探るドキュメンタリーを作りました。

方向性が決まると同時にセールスも開始。最初に提案した大手企業から「1社だけでなく地元企業みんなで“広島”という地域を応援するような番組にしてほしい」という要望が。それを受けて本社の営業部員が必死でプロモート活動に邁進。銀行、製菓、建設会社など幅広い業種の地元企業から協賛をいただくことができ、無事に最初の大手企業からも協賛いただきました。

地元愛に溢れたスポンサーのニーズを、番組企画と営業マンの汗で掴むことに成功した事例となりました。

(広島FM 東京支社長 坂本 義行)



(上)取材したカープ女子とマツダスタジアムへ
(左下) 広島を走り続ける路面電車
(右下) 被爆から70年経った原爆ドーム

ネットワーク展開企画

AIR-G' FM北海道 × 各局 「TxT GARAGE 生CM」

FM北海道では、現在は全国で中古車買取ネットワークを展開している「TxT GARAGE」(ティーバイティーガレッジ)の道外のネットワーク展開を10年ほど前から行ってあります。中古車買取の効率を上げる支援展開がメインで各局のDJによる生CMと「クライアント担当者との掛け合いによる生CM」を毎週2~3回のセットで展開しています。当初は、宮城、静岡、広島3局でしたが、今年は新潟、石川、富山、愛知、長野へと広げることになりました。

一方で、同じくTxT GARAGEが提供についたタイムで、AKB48のチーム4 川本紗矢(北海道別海町出身)さんを起用した30分番組も深夜に10局のネットを実施してきました。4月で一時中止になりましたが再開のタイミングを図り進めていきたいと考えております。

(AIR-G' FM北海道 取締役営業編成局局長兼東京支社長 岡部 唯彦)



(左上) 北海道出身 AKB48 チーム4 川本紗矢さん
(右上) ピンテージカービジネス展開も図る TxT GARAGE
(下) 収録後、川本さんを囲んでの記念撮影(チームワークもバッチリ!)



ミーティングで松任谷正隆さんの提案で生まれたオリジナル書下ろし曲が「POST CARD」。三人で歌詞を持ち寄りスタジオで一発録音。メール、SNS 全盛の現代に文字で綴る手紙の温かさ、切なさをアップテンポの曲調で仕上げられたとびきりスペシャルな一曲。ライブではもちろんエンディングで披露された。

100年の時空を行き来する物語を紡ぐ

ストーリーテラーとしてステージを進行したのは大沢たかお。わがJETSTREAMの機長である。現代人が日々の生活の営みの中で抱える苦悩、葛藤、夢を、未来の番組に届いた「手紙」という形で語りかけ、100年の時空を行き来する物語を紡いでくれた。



100年後の未来に残したい言葉を来場者に問いかけるJUJU



JUJUと秦基博によるコラボレーション

スペクタクル感溢れるビッグデータ映像で、地球上の直面する様々な問題を表現したのは、ライゾマティクス。真鍋大度氏率いる当代No.1の映像クリエイターチームだ。3人のアーティストたちにサイケデリックなアンドロイド加工を施したのも彼ら。アンドロイドたちはときおり登場し、100年後の未来から現代を皮肉ったり、エールを贈ったり気ままなおしゃべりしてくれた。さらに、武部聡志氏をバンドマスターとした凄腕ミュージシャンたちによって結成されたスペシャルバンドが卓越した技量と骨太な演奏でこのライブを支えてくれた。

一夜限りの予定であったが、発表と同時に大きな反響を呼び、追加公演を急ぎよ決め異例の東京国際フォーラム2Days公演をソールドアウトした。ライブが終わった後、Webサイトには、共感と喜びに満ちたお客様のコメントが多く寄せられ、アース&ヒューマンコンシャス理念具現の新たな挑戦に高い評価をいただいた。

(TOKYO FM 取締役編成制作局長 村上 正光)

JFN 賞 2015 授賞式



山本直樹 全国FM放送協議会会長 TOKYO FM 代表取締役会長

JFN 賞は 1987 年に CM フェスティバルとしてスタートし、今年 29 回目を迎えました。授賞式は 7 月 16 日（木）、TOKYO FM ホールで行われ、今年の JFN 賞 CM 大賞と JFN 加盟各局が制作し、優秀作を決する統一部門・東京海上日動賞（東京海上日動火災保険株式会社）は、FM 沖縄の「再挑戦」（40 秒）がダブル受賞をしました。企画部門大賞には、TOKYO FM 「TOKYO FM&JFN present EARTH×HEART LIVE 2015 supported by JA全農」が選ばれました。そして、4 回目となった「JFN 学生ラジオ CM コンテスト 2015」の最優秀賞は九州大学の末松孝文さんが受賞しました。

JFN 賞 2015 CM 部門

JFN 賞・CM 部門は、JFN 加盟 38 社の CM 制作の向上と CM を通じて地域社会の文化に貢献することを目的として表彰されるもの。今年度は 38 社 111 件のエントリーの中から各賞が決定しました。

統一部門企業審査員の東京海上日動火災保険株式会社の有田克彦広報部長から「今回、歴史がある JFN 賞 CM 統一部門においてテーマを設定させていただく機会がありました。JFN38 局の皆様が創意工夫溢れる作品をお作りいただき大変光栄に存じております。私ども東京海上日動は、お客様のいざというときにお役にたてる、お客様が何かあったら真っ先に相談したい、という「良い会社 Good Company」を目指して取り組んでおります。お客様の「いざ」には万が一ということもありますが、新たな一歩を踏み出すときの「いざ」、すなわちお客様の挑戦も支えていきたいと考えております。オリンピックでメダルを取るような大きな挑戦も勿論ありますが、日々日常でお客様の気づいていない挑戦が目の前にある。そういうことに気づいていただき、そういう小さな挑戦も我々が応援していきたい。そういうことから今回「日本全国・地域、そして日常にあふれている挑戦を応援したい」というテーマを設定させていただきました。38 局の作品を拝聴させていただき、どの作品もご当地感溢れ、それぞれの切り口から挑戦を描いていただきました。今回の審査ではそれぞれに心の中で満点を付けさせていただきました。中でも FM 沖縄の『再挑戦』は、夫が妻に言う「愛してるよ」という言葉ですが、言えるようであり、誰でも言えるわけではない。そうした日常の中における挑戦を見事に描いていただき感動しています」と講評が寄せられました。



有田克彦 東京海上日動火災保険株式会社広報部長

審査員講評



特別審査員長
弘兼憲史氏

2 年前と比べ、昨年、今年と審査会の雰囲気ガラッと変わりました。大変面白い選考会をやらせていただいております。今回のグランプリは、奇しくも東京海上日動火災保険株式会社の作品。これを作られた FM 沖縄の社員クリエイターの方は、昨年にもグランプリを受賞している。今回は、制作者審査員と我々特別審査員と東京海上日動火災保険株式会社の意見が一致した、素晴らしい CM でした。2 年連続おめでとうございます。弘兼憲史賞受賞作品、FM 北海道制作の「イランカラプテ『挨拶』」（公益財団法人 アイヌ文化振興・研究推進機構／60 秒）については、新しいクリエイターが素晴らしい作品を作り続けておられ、しっかりと落ち着いた、心に響くいい CM でした。



特別審査員
谷山雅計氏

いろいろな賞で審査させていただいていますが、投票だけでは面白みがない。それに比べて JFN 賞は、公開審査上で言いたいことが言えるのがいいところですね。谷山雅計賞受賞作品、FM 熊本制作「本当の大人」（20 秒／京塚質屋）に関しては「本当の大人は質屋の、のれんをくぐった時だ」というコピーがとてつもない。借金しているくせに、この強気（笑）。質屋の魅力を、ポジティブに表現しきっていて、心にパシッと入って来ました。全体のグランプリを獲ってもおかしくないものだと思います。



特別審査員
箭内道彦氏

審査会は本当に楽しくて、切磋琢磨、という言葉が一番似合う場所。ラジオを作る人たちの人柄、情熱、気持ちが溢れている。ここでの刺激を持ち帰って、アイデアの新しい切り口にしたいと思えます。箭内道彦賞受賞作品 TOKYO FM 制作「美香の挑戦」（40 秒／東京海上日動火災保険株式会社）については、TOKYO FM の採点にはいつも厳しくしていたなと思いき、点もあまり入れず辛口なコメントをし続けていましたが、この CM だけは美香ちゃんの可愛らしさが溢れていて、東京もひとつのローカルなんだと伝えてくれるとても素敵な作品でした。

開局 25 周年 FM 石川

記念のライブイベントは大盛会

1990 年 4 月 1 日の開局から 25 年。その節目の年に待望の北陸新幹線が開業しました。その開業当日に地元金沢出身で音楽業界で異才を放つ中田ヤスタカさんのユニット Capsule を迎えて「エフエム石川 25 周年記念 CAPSULE "WAVE RUNNER" RELEASE PARTY」を開催し夜通しのライブイベントで盛り上がりました。

また開局記念日の自社ワイド番組「Ciao! style up your life -」（13:30-15:50）や Sunset Express MOVE(16:30-19:00) では、SING LIKE TALKING の佐藤竹善さんなど多くのアーティストからのお祝いコメントをいただいたほか、リスナーからは 25 年間の印象深い番組や歴代パーソナリティへの想いととも、それぞれの人生の歩みも寄せられました。改めてラジオというメディアはリスナーの日常に寄り添って歩んでいると感じ、これからの 25 年に向けて沢山の激励と勇気をいただいた思いでした。

（営業部次長 森井 桂）



CAPSULE "WAVE RUNNER" RELEASE PARTY



開局 25 周年 FM 大分

「外で出会える FM 大分」に

2015 年 4 月に JR 大分駅ビルと、大分県立美術館が相次いでオープンし、大分市中心部も様変わりする中、FM 大分は昨年 10 月に社屋を移転し、新スタジオでの放送を無事にスタートさせ、いよいよ今年の 10 月に、開局 25 周年を迎えます。開局記念日の 10 月 1 日には、記念番組、コーナー等を準備しているほか、その後、JFNC 制作の人気番組「FRIDAY GOES ON あっ、それいただきっ！」や「湘南乃風 HOT134」の公開収録などを皆様のご協力の下、予定しています。

また、自社のワイド番組を担当しているパーソナリティを一同に集めたファンミーティングを、これらに先駆けた 9 月 12 日に行いました。このようなイベントを、FM 大分では初めて取り組み、告知は？内容は？集客は？それぞれの不安を準備で打ち消しながら毎日過ごしています。

放送以外の場でラジオ、FM 大分の PR をやってみよう！というの、ここ数年社内でも話していたことですが、25 周年を機に、「外で出会える FM 大分」の小さな 1 歩を踏み出せればと考えています。

（営業部課長 可兒 貴文）



卓周り



ハニカムプラザ

開局 25 周年 Kiss FM KOBE

「SURPRISE!」をテーマに

1990 年の開局から、阪神大震災や経営破綻など様々な出来事乗り越え、今年 10 月 1 日に開局 25 周年を迎える事が出来ます。

Kiss FM KOBE の記念すべき 25 周年 YEAR は「喜び」とも意味する「SURPRISE!」をテーマに、多くの「SURPRISE!」をリスナーに届けていきたいと考えています。

プレ企画としては、姫路駅前にある複合商業施設とのコラボレーション企画「Kiss SUMMER FESTA」を夏休み 1 か月間開催。Kiss FM KOBE ゆかりのアーティストによる直筆サイン・メッセージなど、レアアイテムを展示した特設ブースには、多くのリスナーが訪れました。また、25 周年記念ポスターのデザインを決める「ポスターグランプリ」も開催。県内のデザイン・印刷のプロから力作が多数寄せられ、リスナーによる投票審査を行いました。そして、10 月 1 日には 11 時間半にわたる開局特番を放送。スペシャルプログラム内では、ワイド番組に携わるサウンドクルー（DJ）総出演、そしてリスナーから募集した「SURPRISE!」を叶えるような企画を実施します。

10 月以降も 1 年を通して 25 周年企画として「RED BULL FLUGTAG」への参加や 25 周年記念ライブの開催も予定しています。Kiss FM KOBE から素敵な「SURPRISE!」をお届けしていきます。

（編成部長 佐野 裕之）



Kiss SUMMER FESTA. 展示会場



Kiss SUMMER SELECTION に選んだアーティストからの直筆メッセージ



開局 20 周年 ふくしま FM

ふくしま FM は「HAPPY LOVE SMILE」

1995 年 10 月の開局から 20 年を迎えたふくしま FM。開局 10 年目に本社・スタジオ機能を備えた局舎が完成し、福島市から郡山市へ本社を移転しました。その後 2011 年 3 月 11 日の東日本大震災が発生。私たちふくしま FM もかつて経験したことのないラジオ局としての使命感、放送に対する意識をさらに強く持つこととなりました。

そのようななか、昨年から 20 周年事業として様々なイベントやキャンペーンを実施。昨年 10 月には「ふくしま FM20 周年記念大感謝祭」と題し、郡山市のビックパレットふくしまにおいて自局や全国ネットの番組の公開放送等、リスナーとふれあえるイベントで 2 日間のべ約 1 万人超の来場者をお迎えしました。これからもふくしま FM は福島県民の皆様へ「HAPPY LOVE SMILE」をテーマに放送を届けてまいります。

（執行役員営業本部部長 湊 一康）



ビックパレットふくしまでのイベント風景



局舎

開局 30 周年 FM とやま

30 年の音返し (おんがえし) コンサート

1985 年 4 月 1 日に開局した FM とやま。

この 30 年間、音楽メディアの主流がカセット、レコードから CD、ダウンロードへと移行してきましたが、FM とやまも音楽産業とともに歩んできました。

そこで、FM とやま 30 年間の感謝を音楽でお返りする“音返し(おんがえし)コンサート”を企画しました。

出演アーティストは「スターダスト☆レビュー」を中心に、KAN、杉山清貴の通称「SSK ALL STARS」に佐藤竹善をゲストに迎えるコラボコンサート。スタレビが全アーティストのバックバンドも務めます。

当日は、事前に番組で募集した“感謝メッセージ”を紹介するなど、ラジオ局ならではの番組と連動した企画も予定しています。

8 月 1 日(土)に発売開始したチケット販売も好調。10 月 18 日(日)の開催に向けて準備を進めています。

(放送営業部営業グループ主任 高橋 克守)



スターダスト☆レビュー



30 周年ロゴ

開局 30 周年 FM 山口

アイドル創出で地域活性化に貢献

30 年前は民放 FM の開局ラッシュの頃。FM の番組が若者の話題の中心でしたが、現在は様々なニューメディアの出現や景気の減速もあり長い伸び悩みの時期を迎えています。そのような中で 30 周年を迎えるにあたり、ラジオの強みとは、県域局の役割とは何かを考え、地元密着、地域貢献を検討し、記念事業の目玉の一つとして「ニューアイドル」の創出を行う事としました。

全国的にローカルアイドルが生み出され地域に貢献していますが、当社のアイドルは FM 局が生み出すに相応しい実力と幅広いファン層を持つアイドルアーティストを目指し、公開オーディションを実施、候補者を選定しました。今後歌やダンスのレッスンを積んで、12 月 1 日開局記念日には CD 発売。デビュー後は当社主催イベントはもちろん、県内各地のお祭り等への出演を通じて活性化に貢献してまいります。

(営業部長 御前 信幸)



開局 30 周年 FM 三重

スローガンは「Heartful Radio with you」

人の声に安堵し、人の歌声に癒される…。レディオキューブの開局 30 周年は、「ふれあい」を基軸として、「Heartful Radio with you」をステーション・スローガンに掲げました。

全国公募により選ばれた、斬新なコーポレート・ロゴマークへの大転換は、特に女性の支持を集めました。三重県育ちの平井堅さんによる書き下ろし記念楽曲「ON AIR」。当初、月平均 200 回を超える大量オンエアで、リスナーにはすっかり馴染み平井さんのラジオ愛に満ちた楽曲です。

その他、5 日間で 3000 通のアクセスがあった開局記念特番。現在も進行中の県下全 29 市町を巡る「ふれあいキャラバン隊」など、三重を明るく元気にする企画を、今も続々と進行中。同じ時間を、同じ音世界で過ごすリスナーと一緒に、これからも「心のこもった、あたたかい放送」を発信していきます。

(放送部 チーフプロデューサー 富田 哲也)



開局当時、FM 三重を夢中で聴いていたと話す平井堅さん



開局記念特番には山本シュウさんも登場!

開局 30 周年 FM 熊本

新キャッチコピー () goes on.FMK

今年 11 月 1 日、FMK は開局 30 周年を迎えます。新キャッチコピーは、「() goes on.FMK」。「goes on」とは、「続ける」とか「前に進む」という意味。そして「goes on」の前には、「(LOVE) goes on.」や、「(DREAM) goes on.」など、様々な言葉が入ります。今までの 30 年の歩みを踏まえ、何かを「goes on」する人たちが活動などを、もっともっと応援していこうと思っています。

主な記念事業としては、9 月に、熊本にゆかりのある 4 組のミュージシャン (KEYTALK、BLUE ENCOUNTER、忘れらんねえよ、WANIMA) が出演するライブイベント「HI-GO MANIA (ハイゴー・マニア)」を開催、また、11 月には、10 時間を超える開局記念特別番組を公開生放送形式で放送します。

(編成技術部編成担当部長 伊佐坂 功親)



BLUE ENCOUNTER 田邊駿一



HI-GO MANIA 出演アーティスト

JFN 賞・CM 部門

賞タイトル	受賞局	作品名
👑 JFN CM 大賞	FM 沖縄	「再挑戦」(東京海上日動火災保険株式会社 / 40 秒)
👑 第 1 部門 最優秀賞 ※20 秒以内 (エントリー数=49 本)	FM 熊本	「ある待ち合わせ」(株式会社ミハナタクシー / 20 秒)
👑 第 2 部門 最優秀賞 ※21 秒以上 (エントリー数=24 本)	FM 北海道	「協坂工務店「ギター」」(有限会社協坂工務店 / 40 秒)
👑 統一部門 東京海上日動賞 ※エントリー数 40 秒=38 社 38 本	FM 沖縄	「再挑戦」(東京海上日動火災保険株式会社 / 40 秒)
👑 奨励賞 / 地域ブロック賞	北海道・東北 / FM 秋田	「カーナビ」(秋田県自家用自動車協会 / 20 秒)
	関東・甲信越・静岡 / TOKYO FM	「新製品」(株式会社エクソル / 60 秒)
	中部・北陸 / FM 石川	「花キュービット石川支部 母の日 2015 「天の声」」(花キュービット石川支部 / 20 秒)
	近畿・中国・四国 / FM 山口	「かんちがい電話」(しごと新聞 / 40 秒)
	九州・沖縄 / FM 熊本	「本当の大人」(京塚質屋 / 20 秒)
👑 制作者審査員賞	FM とやま	「山内マリコのオケイトーク」番組内 CM 「オー！ノー！トーク！ / 佐々成政」(富山ダイハツ販売株式会社 / 60 秒)
👑 弘兼憲史賞	FM 北海道	「イランカラパテ「挨拶」」(公益財団法人 アイヌ文化振興・研究推進機構 / 60 秒)
👑 谷山雅計賞	FM 熊本	「本当の大人」(京塚質屋 / 20 秒)
👑 箭内道彦賞	TOKYO FM	「美香の挑戦」(東京海上日動火災保険株式会社 / 40 秒)

CM 大賞 / 統一部門・東京海上日動賞

FM 沖縄「再挑戦」篇 (40 秒)
(東京海上日動火災保険株式会社)

男性 挑戦。
43 歳、サラリーマン。
結婚 15 年目の妻に
「愛してるよ」と
毎日言ってみる、挑戦。

実際に男性が奥さんへ
「愛してるよ」と毎日言い続ける
様子を 20 秒程度でテンポよく紹介します。

(男性と奥さんのやりとりを背景に)
男性：毎日を楽しむことも、挑戦だと思おう。

そのとき、力になりたい。
東京海上日動



JFN 学生ラジオ CM コンテスト 2015 最優秀賞

九州大学 末松 孝文さん「吸収力」篇 (40 秒)

SE 通販のオープニングのような明るいテーマ曲～拍手
男 「ハイ！みんな。今日はこの学生を紹介しよう！」
女 「なんだか普通ね」
男 「見た目はね。でも驚くべきは吸収力！」
女 「吸収力？」
男 「そうさ！見てごらん。この学生の前に、知識や経験を持ってくると…」
SE 吸い上げる音
男 「どうだい！この吸収力！」
SE 「ワーオ」(ギャ)
女 「嘘でしょ！夢でも見ているみたい！」
男 「もう空っぽだよ」
女 「この吸収力はなに？」
男 「それはね…」
女 「ああ！服が！」
SE 吸い込まれる音
女 「きゃあ〜！」
男 「吸い込まれるう〜！」
NA 「吸収力が桁違い。九州大学」

下記のホームページで、
「JFN 学生ラジオ CM コンテスト」
の CM を聴くことができます。
<http://www.jfn.co.jp/cm/>

JFN 学生ラジオ CM コンテスト 2015 の受賞者コメント



👑 最優秀賞
末松 孝文さん (中央)
九州大学 / 40 秒
医学部 医学科

素晴らしい賞をいただきありがとうございました。40 秒という長くはない時間ですが、多くの方の協力があった CM ができていることを実感できました。この経験を医療分野でも活かしていけたらと思っています。

👑 優秀賞
金子 由里絵さん (右)
昭和女子大学 / 20 秒
グローバルビジネス学部
ビジネスデザイン学科

私は、このコンテストがきっかけで、これまで知らなかった、ラジオの繊細さを学び得ました。今回、優秀賞という光栄な賞とともに、ラジオの良さに気付くことも出来ました！素敵な賞と経験をありがとうございました。

👑 優秀賞
林 貫志さん (左)
学校法人・専門学校 HAL 大阪
ミュージック学科 / 40 秒

1 つのアイデアがいろんな機会に繋がる凄さを実感しました。また、こういった機会が与えられているしくみをもっと認知してもらいたいと感じました。作品を作るすべての過程が楽しさと感謝でいっぱいでした！



企画部門

JFN賞・企画部門は、年間の放送・事業・営業等の活動事例の中から、JFN賞選考委員会によって選定されるもの。今年度は26社46件のエントリーの中から各賞が決定しました。

大賞 TOKYO FM

TOKYO FM & JFN present EARTH × HEART LIVE 2015 supported by J A全農

JFN賞企画部門大賞の栄誉にあずかり心から感謝申し上げます。このコンサートは松任谷正隆さん演出による壮大なロマンの旅でした。圧倒的な音と映像のパワーによって、見たことのないアース&ヒューマンコンシャスの世界がそこに出現しました。放送を聴いて、ライブを観て、多くの共感メッセージをいただきました。その一部をここに掲載させていただきます、私の御礼とさせていただきます。

(担当者 村上 正光)

放送聴きました！言葉が見つからないほど感動しました。

途中で大沢さんが紹介されたメールに病気の恋人を想うメッセージがありましたが、私も同じことを思っています。私は、病気になった方の心境として、周りの愛する人達になんでもっと優しくできなかったのだろうと悔やんでばかりです。でも、そんな私を救ってくれているのは音楽です。まだまだ、たくさんの音楽を聞いていたいですから100年後は無理でもその半分は音楽と一緒にいたいと思っています。大好きな秦基博さんが、若い時に聞いていたユーミンの曲を歌う。本当に、その場に行けなかったことが悔しいほど素敵なライブでした。再放送、CD、配信、出来れば映像化お願いします！録音出来なかったことが悔しくて今夜は眠れそうにありません。でも、地球についても改めて考えさせられました。素晴らしい番組をありがとうございました！

(47歳女性)

本日、ライブに行ってきました！興奮冷めやらぬ状態です。本当に素晴らしいです。100年後の地球という設定、大沢たかおさんのナビゲートも素敵でしたし、ずっと聞きたかったユーミンの歌声、JUJUさんの迫力、秦さんの優しい声、心にしみました。いつまでも終わらないでほしいかったです。アンコールのために本気で拍手しました。最後のほうの大沢たかおさん実物のご出演も、私にはサプライズで、ものすごくうれしかったです！本当にありがとうございました。平和、自然の大切さのメッセージ、人は簡単に悪にも染まってしまうので、いつも発信し続けてほしいと思います。本心では大切だとわかっていても、なかなか行動できないものですが、本当に素晴らしいものに出会うと、一気に勇気が出るというか、人それぞれの本当に戻るような気がします。この気持ちを忘れないように、日常を送りたいと思います。やさしさを溢れるようにと、卒業写真がとても心に残りました。双眼鏡を持って行かなかったのが心残りですが、でも、素晴らしいアーティストの方々と同じ空間にいられたことが、とても幸せだったので、良しとします。でも、ライブ映像を、少しでもHPで見れたらうれしいです。

(42歳女性)



優秀賞 FM 仙台

とび出せ高校生諸君！ 課外授業スペシャル！「長瀨 剛 & 池上 彰」

今回の受賞は、約30年間放送してきたレギュラー番組「とび出せ高校生諸君！」の存在なしにはありえませんでした。高校生を対象にしたラジオ局のイベントの開催やスポンサー探しは容易ではない、という声をあちこちで聞きます。本企画が成功した大きなポイントは、長瀨剛さんと池上彰さんを先生としてお迎えできたことだと思います。

(担当者 後藤 心平)



優秀賞 FM 福岡

第1回A級グルメ大食覧会 2014 ～天神中央公園が巨大な本格レストランへ～

福岡市の中心にある公園で開催した食の大イベント。5月22日～25日の4日間、地元有名飲食店24店が出店し、本格料理を屋外で提供しました。音楽以外(食)の企画で受賞できたのは、光栄です。今後、コンサート以外の事業の柱に育っていくものと思っています。

(担当者 小田 浩穂)



特別賞 JFNC

戦後70年特別番組『記憶のバトン-70の階段-』 (Vol.1「雑誌の変遷、その70年」)

この企画に係ってくださった進行役の金子奈緒さん、ゲストの石川次郎さん、山田五郎さん、そして、街頭取材に応じてくれた一般の方々に深く感謝いたします。戦後60年の特番から、時間をかけて見つけた点と点が、線になり、面になったような気がします。

(担当者 長利 清之)



開局30周年 FM 岩手

30年間のありがとうを込めて

1985年10月1日エフエム岩手開局。

5周年には武田鉄矢コンサート。10周年にはDJ赤坂泰彦とシャ乱Qのアリーナライブと生放送を掛け合わせた「SUPER 10th Night's」で大々的にイベントを実施。深夜にも関わらず多くのリスナーがエフエム岩手の入っているビルを取り囲んだ。

15周年では、地元学生デザインによるシンボルマークをステッカー企画として実施。

20周年では、横山剣をゲストに公開生放送。25周年には「家族の絆」をテーマに、小学校、中学校、高校、社会人のプラスバンドによるコンサートを実施。最後は全員での演奏で盛り上がりを見せた。(下記写真)

30周年では、V6 Next Generationの公開録音を7月に安比で開催。来場者はもちろん、番組を通じて全国に向け発信することができました。10月1日には、深夜枠も使っての生放送を実施予定。歴代パーソナリティも加えて30年間のありがとうを込めリスナーと交流し、次の時代に向けたスタートとしたい。

(営業部長 八木 克久)



家族の絆コンサート



15周年ステッカー (表)



15周年ステッカー (裏)

開局30周年 FM 秋田

特別番組「コレカラジオ・ココカラジオ30時間！」

弊社親局の周波数82.8MHzにちなみ、8月27～28日の二日間、特別番組「コレカラジオ・ココカラジオ30時間！」を実施しました。

27日午後から28日21時までの延べ30時間に渡り、30年間の軌跡を音楽と共に綴ると共に、パーソナリティによる(実際に自身の足で走る)マラソンレポートや、中継車による県内各地からの生レポートを実施しました。営業的には、マラソンレポートに大手時計メーカーやスポーツメーカーの協賛を得、中継車両協賛も複数獲得することができました。昨今の営業状況は決して楽観できるものではありませんが、この特別番組セールスにおいて県内各地で「FM聞いてるよ!」「もう30年になるんだ」など、リスナーからの力強いエールは、社内モチベーションの維持に繋がりました。

30周年のステーションロゴとして、音声、映像、印刷物等に露出させています。このメッセージは、30周年を迎えることができアリガトウ、そして31年目からエフエム秋田へのエールを込めたステーションメッセージとなっています。ロゴの募集・採用は、会社スタッフ及び友人デザイナーらによるコンペを実施し、最終5候補からこのステーションロゴが採用されました。

(営業部長 柿崎 浩)

開局30周年 FM GUNMA

開局以来の大改編で新スタート

開局30周年にあたり当社では、記念事業の実施でなく自社番組の大幅改編をテーマに掲げ、今年4月、開局以来最大となる番組改編を実施しました。平日の朝と夕方帯に新ワイド「(WAIWAI Groovin')」[ユウガチャ!])を立ち上げた他、既存ワイドも拡大リニューアルを図りました。さらに金曜午後には、東京銀座にあるぐんま総合情報センター「ぐんまちゃん家」から2時間の生放送もスタートさせました。改編に併せて、企業ロゴやステーションジグナルも一新させ、新しい番組編成と新しいステーションイメージで30周年のスタートをきりました。リスナー、スポンサー代理店、関係者から大きな反響が届け、改編の手応えを感じています。

(取締役報道部長兼編成部長 金井 政人)



ユウガチャ!水曜出演者
バカボン鬼塚(中央)&笹川裕昭アナ



本社スタジオ外観

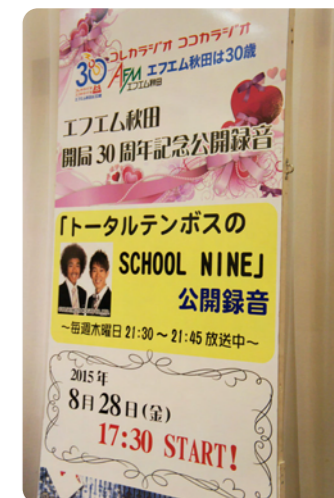


WAIWAI Groovin' 出演者 内藤聡&リスナー



コレカラジオ
ココカラジオ
エフエム秋田は30歳

30周年のステーションロゴ



開局 45 周年 FM 大阪

開局 45 周年を迎えて「今、変わる！」

「radiko」の急速な浸透、又、来春に迫る在阪 AM3 局の FM 補完中継局稼働により、創出する番組・イベント等の企画力、コンテンツ力が、生活者、また、企業広報活動からどう支持を得、どう評価されるか。そのようなラジオ業界激変の昨今、当社開局記念の 2015 年 4 月 1 日(水)、「ケンコーコバヤシ氏が FM 大阪の特命局長に就任!？」という表明の下、よしもとの後輩芸人、学天即、天竺鼠、かまいたち、藤崎マーケット達を補佐役とし、特別番組「～ FM OSAKA 45th Birthday ～ 「私が局長です！」」を 8:20～21:55 の長尺編成で放送。エイプリルフールを背景に、「無茶振り企画」を連発。radiko への接触データ上も新規リスナーの聴取も見て取れ、大きな反響を得た。

また、7 月 7 日(火)には、開局特番として、「DREAMS COME TRUE THE BEST! 私のドリカム」のリリースに合わせ、全ワイド番組を通して、同 CD 収録曲、全 50 曲を完全オンエア。

そして、8 月 8 日(土)には、今年 9 年目を迎える飲酒運転撲滅のための SDD プロジェクト、初の夏季企画として、開局 45 周年記念プレミアムライブ「SDD LIVE SUMMER EDITION」を開催。「SCANDAL」を迎え、真夏の夜になんばハッチを満員にした 1,500 名が、新たに飲酒運転撲滅を誓った。そして開局 45 年目の秋 10 月には、朝ゾーンを中心にワイド番組を大幅改編。「大阪の朝を変える」意気込みで、スタートダッシュ絶賛準備中!

(取締役営業本部本部長 棕本 益太郎)



特命局長就任 (!?)



FM OSAKA をジャック!



SDD プロジェクト初の夏企画

開局 45 周年 FM 福岡

まだまだ進化する FM FUKUOKA

「まだまだ進化します。45 周年の FM FUKUOKA」をキャッチフレーズに下記の内容を展開中です。

- ★ 福岡県内イオンモール 6 か所での公開生放送企画は、すでに 2 会場で実施し、各会場とも 3000 人のお客様を動員、大盛況でした。
- ★ 1day 特番「5 年後の未来へ、リクエストを贈ろう」を、開局記念日の 6 月 1 日生放送しました。5 年後(開局 50 周年)の自分や大切な人にリクエスト曲とメッセージを送り、5 年後の記念特番で放送するという未来志向の内容で、300 件ものリクエストがありました。
- ★ 記念コンサート(興行)第 1 弾「小曽根 真 Classic× Jazz」を 6 月 17 日開催。クラシックの名曲を含めた演奏は他にない内容で、音楽放送局として自負できるものでした。
- ★ 50 周年に向けたキャラクター「くま P」(熊野プロデューサー)を作成し、放送でイベント告知をさせたり、イベントへ出演させたり、ネット上に動画で登場させたりしてノンリスナーへ徐々に浸透しています。

(取締役放送本部本部長 小田 浩稔)



イオンモール公開生放送



小曽根 真



くま P

奨励賞 FM 大阪

「大阪芸大 学ラジ！」
※毎、土曜日 22:55～23:00 (5分番組)

本気で放送業界で働くことを夢見る大阪芸大の学生たち&学校と FM OSAKA が真正面から真剣に向かい合って作ってきた番組で受賞できて、番組スタッフはもちろん、学生たちも大感激しています!!

(担当者 中西 貴晃)



奨励賞 FM 香川

～人口 43 人の島で結婚・妊娠・出産・育児を考える～
高見島再生プロジェクト

地元の方々やリスナーと共に、美しい瀬戸内海の人口 43 人の「高見島」を考え、語り合った共有体験が、評価していただけることを大変嬉しく思います。今後も、地域のラジオ局として、地元へ根ざした放送や活動を続けていきたいと考えています。

(担当者 井川 達雄)



奨励賞 FM 福岡

ラジオドラマ「クワイエット・プリーズ」

視力を失って音を頼りに生きていく主人公の人生を、ラジオドラマの中で組み立てました。その意図が評価されて大変嬉しく思います。「クワイエット・プリーズ」とは、ゴールボールの始まりに使われる言葉で、ラジオに集中してもらおう言葉でもあります。

(担当者 首藤 裕)



地域賞 FM 青森

薬研温泉開湯 400 年記念ラジオドラマ
「かさまい高校薬研温泉部」(連続 20 回放送)

下北半島の薬研温泉が開湯 400 年を迎えるにあたり、今回は、脚本の田辺典忠先生に何度も変更をお願いしました。これまで以上に長い作品(連続 20 回)で、約 20 人以上が制作に関わる作品となり、快く協力して下さった方々に朗報が伝えられて何よりです。

(担当者 平山 早苗)



地域賞 FM GUNMA

「富岡製糸場と絹産業遺産群」
世界文化遺産登録記念特別企画(一連)

FM ぐんまでも 2008 年頃から毎年、特別番組や啓発スポット、イベント、取材などで世界遺産登録の盛り上げを図ってきました。集大成ともいえる登録の年、地元ラジオ局として社員総力戦で臨んだ特別企画を評価いただき、大変ありがたく思っています。

(担当者 岡部 哲彦)



地域賞 FM 新潟

FM-NIIGATA 防災特別番組「新潟地震から 50 年」

度重なる大地震や水害など、多くの自然災害を経験する中、災害時にラジオがいかにか大切な情報源かと痛感し、地元自治体と地域防災に対する取り組みを行ってきました。地道な積み重ねがあったからこそ、地域賞をいただくことができました。

(担当者 古山 洋)



地域賞 FM 三重

CLEAN UP ISEWAN ～みんなで守ろう、みんなの伊勢湾～

三重に流れ着くゴミをなくしていく!この企画は当然、三重県だけではできません。伊勢湾を囲む地域の 3 局(愛知・岐阜・三重)が呼び掛けて啓発していく企画が、地域・JFN のネットワークの力だと思いました。FM 愛知さん、FM 岐阜さんに感謝いたします。

(担当者 西川 朋宏)



地域賞 FM 宮崎

宮崎の「人」に焦点を当て、宮崎を再認識し
宮崎を愛する心を喚起させる、
地元指向型プログラム!「DJ POCKY Super Radio Club」

番組がスタートし、今年 24 年目を迎えました。宮崎を軸とした、多くの方々をゲストに迎え、色々なお話をさせて頂きました。ラジオの向こうにいる方々に宮崎に誇りをもち、地域は人で創られていることを伝えたいと考えています。

(担当者 井上 喜文)



CM セミナー 2015 広告は記号の塊

面白いものを見ると、面白くないものは見たくない
～普通の答えはおいといて、もう一つの答えを探しにいこう～

講師：上野達生氏

株式会社 BBDO J WEST コンテンツ開発局局長
クリエイティブディレクター・CMプランナー・コピーライター



講師の上野達生氏

今回、このCMセミナーのオファーをいただいた時に、広告の楽しさを伝えて欲しいと言われました。ありがたいな、と思いました。広告の仕事は結構ギリギリのしんどさでやっているのに、楽しく取り組んでいるように見られる。楽しそうな業界だ、と外の人達から見えることは大切だと思っています。

BBDO J WEST は広島以西（広島、下関、小倉、福岡、沖縄）を管轄しているクリエイティブエージェンシーで、私は福岡に所属しています。クライアントさんは、西日本が主ですが、最近では、東京からお声がかかることも増え、名古屋、広島、海外と九州だけでなく幅広くお手伝いさせていただいています。

実は、一番初めに広告を面白がるきっかけとなったのはラジオでした。学生時代に、地元福岡のコミュニティFMでラジオ番組を持っていました。当時はお金がなかったので、学生仲間とMOに録音して放送していました。表現の方法として声だけというのは面白いし、僕らにもラジオCMが作れるかもしれないと思い、伝手を頼って某洗車会社の社長に「CMを作らせて下さい」とお願いし、洗車会社のCMを制作放送しました。これがきっかけでラジオCMにはまり、1997年に福岡コピーライターズ賞（FCC）で初めて賞をいただきました。今の私は、ラジオが起点となったと言っても過言ではありません。

出席者とのQ&A

Q 私も楽しいことをするのは好きなんですが、楽しいことをしようとすると怒る人が周囲にいます。そういう人に対してどう接していますか。

A とりあえず笑ってごまかす（笑）。単純に何で怒るのかと考えると、自分に不利だから怒っているんですね。「俺が苦労する。俺が誰かに怒られる」ということを気にしているから怒るのではないのでしょうか。怒るには必ず理由がある訳で、それをケアしているアイデアであればその人は怒らない。それを考えたら大丈夫ではないでしょうか。

Q 作った後に怒られることはありますか。

A もちろんあります。例えばオンエアした後とか、お蔵入りとかもあります。その時は反省したり…（笑）。メッセージは強く伝えたいといけなく、アイデアは面白くない、みたいなアウトプットはないと思いますので、何か方法があるのではないかと粘ります。無視されるCMは意味のない投資になります。どストライクのアイデアは無視される恐れがある。しかし変化球すぎるアイデアも複雑で結局何が言いたいかわからないものになる恐れがある。ストライクか外れるかギリギリを狙うという意識は常に持っています。その結果、爆発的に売れたり、広告賞をいただくことができるのではないかと思います。

Q アイデアを出すときの根拠にしていることは何ですか。

A 記号を見つけることですね。広告は記号の塊だと思います。メッセージを記号で表現するのです。例えば、今回のお題の「挑戦」を考えてみましょう。そもそも挑戦しない記号が挑戦するというストーリーがアイデアになると思います。例えば、そもそも挑戦しない記号を「シャボン玉」にします。シャボン玉が挑戦したいことは「割れないこと」。「シャボン玉が割れない挑戦をしているストーリー」というアイデアになります。これが決まったら、シャボン玉が自身を鍛えるためにウエイトトレーニングする、シャボン玉が身体のことを考え栄養のあるものを食べまくる、などいろいろ考えられますね。このように記号で考えていくと短い時間でたくさんのアイデアが考えられるようになります。後は、どのアイデアが一番面白いのか、という選択をしていけばいい。先ほどのギリギリのアイデアを選択していけばいいのです。

（講演日：2015年7月17日）



45年分の感謝を込めて

大阪万博、よど号ハイジャック事件、マクドナルドが銀座一号店をオープンさせたのも1970年だ。しかし僕にとってのこの年のビッグニュースはジャイアント馬場がジンキニスキーに敗北しインターナショナルチャンピオンベルトを奪取された大衝撃・・・典型的なテレビっ子小学生だった僕は、この年にFM東京が開局したニュースは記憶になかった。が、ビートルズ解散の年に音楽ステーションとして開局したことは、ビートルズ後の多彩多様な才能が次々と出現して、百花繚乱化する音楽シーンの伝道師としてのパイオニアを運命づけられていたのかもしれない。TOKYO FMの誇らしく面白いのは、護送船団とも言われる放送界にあって、いつも他社では絶対にやらない実験と開発を繰り返し、大きな理想と夢を携えて孤高ともいえるチャンレンジャーを突き進めるところである。45周年を迎えるにあたり打上げ花火のような記念イベントも大切だが、やはり激戦の首都圏メディア、超多メディア環境の中でリスナーとどう向き合い、寄り添っていくかが最重要課題である。

象徴イベントは、別掲のEARTH×HEART LIVEに格別な想いをこめて開催した。編成方針はアースコンシャス、ヒューマンコンシャスの哲学を実践し、感動と共感の連鎖をリスナーと分かち合うことである。2014年の4月改編では「共感コミュニティ」を旗印に平日ワイド番組が、リスナーとともに創造するイベント、企画を波動的に展開、リスナーと出会い、一緒に語り、笑う。その信頼と絆を拡大させたこの一年間であった。ようやく聴取率も少しずつ上昇基調の兆しが表れ、昨年度はM1、F1第一位を3回獲得した。二年前に東京タワーの塔頂部にアンテナを設置し、聴取環境が改善されたことも大きい。その「共

感コミュニティ」の集大成として、ゴールデンウィークの初日となる4月29日（水・祝）9:00～20:55までの約12時間を通して、発信拠点の一つ「渋谷スペイン坂スタジオ」から、開局45周年特別番組「TOKYO FM 45th Anniversary Special ～ Your Voice, Your Music」を放送した。

45年分の感謝を込めて、「あなたの声と、あなたが聴きたい音楽で奏でる45th」をコンセプトに、この日は平日ワイド番組パーソナリティたちが総登場、いつもと違う組み合わせのパートナーとともに次々と交代しながら放送を担当し、「この45年、みんなが愛したラブソング」をテーマにしたオールリクエスト番組を放送した。

番組の合間には、TOKYO FMが誇る人気アーティスト番組がこの日のために制作したスピノフ的なミニ番組もオンエア。松任谷由実、山下達郎、桑田佳祐、今井美樹、福山雅治、SEKAI NO OWARIがリスナーへの心のこもったメッセージ、自分とラジオへの思い、知られざるエピソード、45年の音楽シーンの中から選び抜いた珠玉ラブソングを届けた。

この日、スタジオ横の「PARCO スペイン坂広場」では、TOKYO FMオール出演者執筆のサイン色紙が展示され、GWで賑わう渋谷の若者たちが足を止めて見てくれていた。また平日ワイド番組のパーソナリティがそれぞれ趣向を凝らした企画で、感謝を込めてリスナーをおもてなしする企画も同時開催。夜まで終日に渡りのべ数千人のリスナーたちと直接対面し、交流を深めた。営業局も本当に頑張ってくれた。多数の提供広告主に12時間の生放送、イベント企画をサポートしてもらい、営業マンたちも総出でこの日の特別番組の熱気を分かち合った。

（取締役編成制作局長 村上 正光）



中西哲生のクロノス テーブルサッカー対決



住吉美紀 Blue Ocean 野点（のだて）お茶会



シンクロのシティ 青空テーマミーティング



LOVE CONNECTION LOVE ミニライブ



アポロン 齋藤美絵 オリジナルバッグデコレーション



Skyrocket Company 大名刺交換会